

# 六環協ニュース

## 第1集

2006年9月～2011年2月

- 第1号:2006年10月 1日発行
- 第2号:2006年11月 1日発行
- 第3号:2006年12月25日発行
- 第4号:2007年 2月25日発行
- 第5号:2007年 4月 1日発行
- 第6号:2007年 6月 1日発行
- 第7号:2008年 1月 1日発行
- 第8号:2008年 4月 1日発行
- 第9号:2008年 6月25日発行
- 第10号:2009年 1月10日発行
- 第11号:2009年 6月15日発行
- 第12号:2009年12月15日発行
- 第13号:2010年 3月25日発行
- 第14号:2010年 5月31日発行
- 第15号:2010年 8月31日発行
- 第16号:2010年11月 1日発行
- 第17号:2011年 1月31日発行
- 第18号:2011年 2月28日発行



**六甲山環境整備協議会**  
(事務局 六甲山を活用する会)



# 六環協ニュース第1号

六甲山環境整備協議会 2006年10月1日発行

## 【10月の活動予定】

### 近畿自然歩道・整備作業の第2回を実施します。

10月21日(土)10~12時に、近畿自然歩道の整備作業の第2回を実施します。参加希望者は10時に「六甲山自然保護センター」のレクチャールームに集合してください。

当日の午後1時から「六甲山魅力再発見市民セミナー・第43回」を開催しますので、引き続きご参加ください。

当日の作業予定は、近畿自然歩道の山道法面の笹刈りと枯れ枝の切り取りなどです。作業用の道具類は用意していますので、軽作業ができる服装でご参加ください。初心者の方や一般市民の方も歓迎ですので、詳細は事務局にお問い合わせください。



整備作業地域マップ

## 【これまでの活動報告】

### 9月16日に近畿自然歩道・整備作業に着手

9月16日10~12時で、近畿自然歩道の山道整備の作業に着手しました。「裏山の草刈りに行く」などと、ボランティア活動に参加した人は19名です。当日は林道の法面の根笹刈りと枯れ枝切りを実施しました。笹に覆われていたアリマウマノスズクサなども顔を出し、多様な植生の出現が期待できます。



山道の笹刈



ボランティア活動のメンバー

近畿自然歩道の山道整備の第1期実施計画として、3ヶ月で記念碑台下の近畿自然歩道入り口から六甲山ホテル手前のノースロード分岐点までの約1キロメートルの林道を整備します。安全を考えて笹刈りと枯れ枝切りなどの軽作業を行います。整備作業の指示は米村さんが行い、方針の統一も図りました。

なお、山道の改修と補修などの重作業は森林整備事務所にお願しました。9月下旬には、坂道の階段などの改修を実施され、近畿自然歩道の整備は着々と進んでいます。

## 阪神電鉄系の2社も協力団体で参画

対象地域の大半を所有している阪神電気鉄道(株)に協力をお願いしていましたが、8月19日にご了解いただきました。六甲山で事業活動をしている子会社の六甲摩耶鉄道(株)と阪神総合レジャー(株)の2社が、「協力団体」として六甲山環境整備協議会に参加されることになりました。整備作業の進捗を見ながら、今後の活動を検討することになります。

有力な土地所有者との連携が可能になったので、本格的に構想の実施計画を作成する段階に入りました。今後は他の地権者とも連携を図ることを進めます。

## 「六甲山環境整備協議会」が正式発足

7月11日に、六甲山勤労市民センターで協議会の設立総会を開催しました。当日は協議会の「構成団体」や「協力団体」をはじめ、多くの関係者に出席していただきました。設立総会では会則や事業計画を承認し、その後の懇親会でも自然環境の整備を巡って意見交換を深めました。

協議会の「構成団体」は、六甲山自然保護センターを活用する会、兵庫県立人と自然の博物館、神戸市森林整備事務所、ブナを植える会、六甲山のアジサイを育てる会、自然案内人の会の6団体で発足しました。



設立総会の出席者

2006年(平成18年)7月13日 木曜日



総会の様子はサンテレビや神戸新聞で報道され、六甲山の自然環境の保全と整備に携わる、市民団体と行政機関が連携するプラットフォームが正式にスタートしました。

## 「自然保護ボランティアファンド」の助成が発端

記念碑台周辺の自然環境の保全・整備の調査・作業を考えて、自然保護ボランティアファンドの助成金を申請したのが六甲山環境協議会を着想した発端になります。国立公園内の自然環境の保全活動などの目的で、1件あたり年間50万円が限度で、環境省の推薦、学識者の参加、関係者と協議会の設立が条件になります。

「六甲山自然保護センターを活用する会」が申請団体になり、「記念碑台周辺の探勝ゾーンの整備」構想をつくりました。ファンドから20万円の助成金が認定されたので、「六甲山環境整備協議会」の構想が具体化しました。

「六甲山自然保護センターを活用する会」では、これまで5年間にわたって、県立自然保護センターや記念碑台周辺の活用を目的に活動しています。月例の「六甲山魅力再発見市民セミナー」は42回を重ねています。開催日の午前中に実施している清掃・整備のボランティア活動も定着し、このたびの「六甲山環境整備協議会」へと発展しました。市民が主体になって、六甲山の自然環境を活かす試みが広がってきました。

発行: 六甲山環境整備協議会・事務局(六甲山自然保護センターを活用する会)  
〒657-0028 神戸市灘区森後町 2-1-3 ワークスタイル研究所内 TEL: 078-856-4756 / FAX: 078-856-6616  
E-mail: info@rokkosan-katsuyo.com http://www.rokkosan-katsuyo.com/

※この活動には公益法人自然保護ボランティアファンドの助成金が交付されています





# 六環協ニュース 第2号

六甲山環境整備協議会 2006年11月1日発行

## 【今月の活動予定】

**11月18日午前中、第3回整備作業をします。  
ごぞってご参加ください。**

11月18日(土)10~12時に、近畿自然歩道の整備作業の第3回を実施します。下図の点線部分の山道の法面の笹刈りと枯れ枝切りをします。参加希望者は10時に「六甲山自然保護センター」のレクチャールームに集合してください。

作業用の道具類は用意しており、初心者の方や一般市民の方も歓迎します。詳細は事務局にお問い合わせください。



整備作業地域マップ

※なお、当日の午後1時から「六甲山魅力再発見市民セミナー・第44回」も開催しますので、引き続いてご参加ください。

## 【これまでの活動報告】

### 10月21日に第2回整備作業を実施

10月21日10~12時で、第2回の近畿自然歩道の山道整備作業を行いました。米村稔邦さんに作業方針の周知を図ってもらい、参加者12名の呼吸を合わせて能率良く作業できました。

#### 整備作業留意事項

1. 多様性を目指す
2. 森の中の自然歩道
3. 落ち葉・枯れ枝を山に戻そう
4. 見通しの頃合い
5. 整備作業は抑制気味に



留意事項を説く米村さん

第1回整備作業から引き続いて林道部分を整備し、近畿自然歩道の山道に入りました。

アセビの林、急な坂道のササ刈りを行い、分岐点からサンセットロードを西へと進みました。

アセビ林の整備



## 近畿自然歩道の山道は改修されている



急な坂道の歩き止めの丸太が改修され安全になりました。分岐点の朽ちた標識(右上)も撤去され、少し情緒が薄れたかも・・・。



標識が撤去された



サンセットロードを西へ西へと整備作業を進める

## ササに隠されていた植物の芽生えが楽しみ

市民セミナーの終了後、第2回整備作業の感想を紹介しました。「整備作業が能率良くなった」「山道が明るくなった」「月1回ひと汗をかくのが楽しみだ」という声がありました。中でも「来春から咲く花が楽しみだ」という意見は大勢を占めました。

反面、先月の整備作業後に早々と見受けられた、アリマウマノスズクサやヤマジノホトギスなどが、手折られたようで見当たらないと報告されました。整備作業の成果を実感するとともに、自然保護を啓蒙する必要も感じました。

## 【これからの活動計画】

### 年末に中間報告会の開催を予定

六甲山環境整備協議会が7月に正式発足して、9月から第1期3ヶ月の実施計画に着手しました。11月には予定通りに整備作業は終了する見込みです。12月から冬季になるため、整備作業以外の活動を進める必要があります。

協議会の構成団体や協力団体をはじめ、関係者の方にお集まりいただいて、年末には中間報告会を開催したいと考えております。

山道の整備から活動範囲を広げることや、周辺環境の調査計画など、今後の活動の方針や計画を改めて検討したいと願っております。皆さまのご予定を確認しながら、中間報告会の開催準備を進めていきますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。(文責:堂馬英二)

発行:六甲山環境整備協議会・事務局(六甲山自然保護センターを活用する会)  
〒657-0028 神戸市灘区森後町 2-1-3 ワークスタイル研究所内 TEL:078-856-4756/FAX:078-856-6616  
E-mail:info@rokkosan-katsuyo.com http://www.rokkosan-katsuyo.com/

※この活動には公益法人自然保護ボランティアファンドの助成金が交付されています



## 【1月の活動予定】

**1月20日午前中に、第5回整備作業をします。ごぞってご参加ください。**

1月20日(土)10~12時に、第5回の近畿自然歩道の整備作業を実施します。散策コースのササ刈りと枯れ枝切り、復活植物の観察などを行います。参加希望者は10時に「六甲山YMCA」に集合してください。作業用の道具類は用意していますので、初心者の方や一般市民の方も歓迎します。

詳細は事務局にお問い合わせください。

※なお、当日の午後1時からは第46回六甲山魅力再発見市民セミナー「阪神電車と六甲山」(講師:玉起彰三さん)も開催しますので、引き続きご参加ください。

## 【これまでの活動報告】

### 第1期の整備作業を完了

11月18日に近畿自然歩道の第3回の山道整備作業を行いました。引き続いて12月9日に第4回の整備作業を実施し、第1期で予定していたコース全域の整備作業を完了しました。

ササで隠されていた植物が復活してくるのを観察して記録しました。整備活動に着手して3~4ヶ月で、このように成果を実感し、今後の活動に意欲を高めました。



### 復活した植物たち



ベニシダ、ゴアジサイ、  
シシガシラ



アリマウマノスズクサ



キクハヤマボクチ



ウラジロノキ



ツルリンドウ



クロモジ



ソヨゴ



ミツバアケビ



ファイアオキ

## 12月12日に中間報告会を開催

六甲山環境整備協議会の平成18年度中間報告会を12月12日に六甲道勤労市民センターで行いました。18時から約1時間で、活動の概況報告、構成団体代表の所感、協力団体のコメント、講評と提言、そして出席者全員の発言で締めくくりました。

7月の設立、9月から第1期整備作業を予定通りに進め、堅調な活動で関係者から理解を得ています。1月以降は第2期整備作業としてさらに整備を続けるとともに、復活植物の観察、次年度の計画立案などを申し合わせました。



桑田幹事の名司会で進行了した中間報告会

六甲摩耶鉄道の平田部長から地権者側の当初の不安や、今後への期待が紹介されて同感しました。人と自然の博物館の高橋晃先生からは、今後の変化を観測しながら、子どもたちも巻き込み、長い道のりを考えるようにと励まされました。

19時からは近所の居酒屋に場所を移して懇親会を行い、六甲山談義で時の経つのを忘れませんでした。



六甲摩耶鉄道・平田部長



人と自然の博物館・高橋先生



談笑で盛り上がった懇親会

## 【これからの活動計画】

### 1~3月で第2期環境整備計画に着手

12月以降の六甲山は冬季のシーズンですので、復活植物の観察や、枯れ枝の伐採などを継続していきます。

1月と2月には子どもの自然探索を支援するイベントを行いますので、併行して対象となるフィールドの調査を行います。なお、コースで手つかずになっている区間について、地権者と相談して整備のあり方を検討していきます。

これらの活動を通じて、3月には平成19年度の環境整備計画を練り上げる予定です。そして、5年以上の先を見通した構想を描いて、段階的な実施を目指すこととなります。

関係者の皆さまをはじめ、さらに多くの方々の協賛を求めていくことこそが、大きな課題であると考えます。

(文責:堂馬英二)





# 六環協ニュース 第4号

六甲山環境整備協議会 2007年2月25日発行

## 【3月の活動予定】

**3月17日に、第2期整備計画を仕上げます。  
ごぞってご参加ください。**

3月17日(土)10~12時に、第7回の整備作業を実施します。記念碑台下の近畿自然歩道の入り口に覆い被さるツルの伐採と散策コースの枯れ枝切りを行います。

参加ご希望の方は10時に「六甲山YMCAロビー」に集合してください。作業用の道具類は用意していますので、初心者の方や一般市民の方も歓迎します。

詳細は事務局にお問い合わせください。

※なお、当日の午後1時からは第48回六甲山魅力再発見市民セミナー「六甲山・摩耶山の活性化について」(講師:今西淳二さん)も開催しますので、引き続きご参加ください。

## 【1~2月の活動報告】

### 1~2月は第2期環境整備計画を推進

六甲山の冬季シーズンも近畿自然歩道の環境整備作業を継続しています。第2期環境整備計画として、散策コースを数区画に分けて、密生したアセビの枯れ枝切りや、ツルの伐採などを行い、環境整備の方針も検討しました。



山道に覆い被さったツタの枯れ枝を伐採

1月下旬から2月初旬には、子どもを対象にし、六甲山の冬を味わえる活動フィールドを設定するとともに、2回の子どもの自然探索の環境学習を支援しました。

### 「六甲山の冬をあそぼう・3」で自然散策支援

1月21日(日)に、「六甲山自然保護センターを活用する会」が主催し、恒例の「六甲山の冬をあそぼう・3」を実施しました。子どもとスタッフ129名が、六甲山小学校を拠点に六甲山の冬を探索しました。今年は暖冬で雪や氷に恵まれませんでした。近畿自然歩道周辺の小池の一带を自然探勝フィールドとして、安全ロープや標識で囲って案内しました。子どもたちは薄氷の張った池で喜々としてたわむれました。

同時に、自然環境の保全と子供たちへの開放について意見の相違も生じました。今後も検討していく課題とみなしました。



薄氷が張った池に集う子どもたち

### 「子どもパークレンジャー」で自然探索の支援

2月4日(日)には、環境省が第1回の「子どもパークレンジャー」を主催しました。「活用する会」が企画・運営を担当し、六甲山小学校と「フィールド・オブ・ゆう」の協力や関係者の支援を得て、小学4~6年生20名を集めて実施しました。

前日の冷え込みに恵まれて六甲山上はうっすらと雪化粧をしていました。午前中は近畿自然歩道と周辺の自然探勝フィールドで冬芽の調査を行いました。

午後はホダギの中に棲む冬の昆虫探しで熱中しました。六甲山の自然環境を生かす独創的な体験学習プログラムを考案しました。今後も継続的に子どもパークレンジャーを育てる活動を進めていく予定です。



小池の周辺で冬芽探し



ホダギの中の虫探し

### 2月の整備作業で「荒ゴミ投棄」を発見

2月17日の午前中は1月に引き続き、近畿自然歩道沿いの枯れ枝切りを行いました。また、記念碑台下の近畿自然歩道入り口部に覆い被さるツルの伐採にも着手しました。作業が大がかりになるので一時中断して、3月に作業を継続します。



ボランティアの仲間



投棄された荒ゴミ

整備作業の際に、山道の北斜面に家庭の荒ゴミが投棄されているのを発見しました。このままではササ藪がゴミ捨て場にされる恐れがあります。ゴミ捨て防止とゴミの撤去・清掃を本格的に実施する緊急事態が生じました。

### 【これからの活動計画】

#### 平成19年度計画を展望して整備作業を実施

平成19年度は第2年度の環境整備計画を実施します。対象の地域を実測調査して水生動物や植物を継続的に観察・観測する予定です。近畿自然歩道沿いを区画割りして、特色のある植生や景観を同定して維持・保持するとともに、環境の整備も進めていきます。新たに突発した投棄ゴミへの対策を検討します。

また、安全で快適な散策コースに整備し一般市民の活用を促進することも考えます。このような観点から環境整備計画を立案しながら、初年度の整備作業の仕上げに取り組みます。

(文責:堂馬英二)

発行:六甲山環境整備協議会・事務局(六甲山自然保護センターを活用する会)  
〒657-0028 神戸市灘区森後町 2-1-3 ワークスタイル研究所内 TEL:078-856-4756/FAX:078-856-6616  
E-mail:info@rokkosan-katsuyo.com http://www.rokkosan-katsuyo.com/

※この活動には公益法人自然保護ボランティアファンドの助成金が交付されています



## 【4月の活動予定】

### 4月12日(木)から生態調査に着手します。

第2年度環境整備計画の一環として、近畿自然歩道沿いの雑木林にある「2つ池」(仮称)周辺を主な対象に、水生生物の生態調査に着手します。県立人と自然の博物館の三橋弘宗先生に、生態調査のご指導をお願いしました。生態調査の手ほどきを受けて、継続的な観察・調査を構想する予定です。

ご関心のある方は、4月12日(木)13:30に自然保護センターのレクチャールームにお集まりください。

特に用具は必要ありませんが、湿地帯に入りますので長靴をご用意ください。



「2つ池」の下部地域

### 4月21日(土)は、第2期の環境整備活動です。こぞってご参加ください。

10~12時に、第2年度環境整備計画の第1回の整備作業を実施します。記念碑台下の近畿自然歩道の入り口に覆い被さる枯れ枝の整備などを行います。近畿自然歩道沿いに出現した早春の植物を観察・調査することも課題です。

参加ご希望の方は10時に、六甲山自然保護センターのレクチャールームに集合してください。作業用の道具類は用意していますので、初心者の方や一般市民の方も歓迎します。

詳細は事務局にお問い合わせください。

※なお、当日の午後1時から第49回六甲山魅力再発見市民セミナー「都市山六甲山」(講師:服部保さん)も開催しますので、引き続いてご参加ください。

## 【3月の活動報告】

### 近畿自然歩道入り口の枯れ枝を整備

3月17日に「六甲山YMCA」に集合した10名のメンバーは、車に分乗して記念碑台に移動しました。第1期環境整備計画の仕上げとして、近畿自然歩道入り口に覆い被さっているツルや枯れ枝の整備を行いました。高枝切りノコギリを使い、電線からんだツルを慎重に除去しました。皆さん、体力を使って作業に没頭しました。

これまで、うっそうとして暗く不安感を与えていましたが、ようやく青空が見える明るい景観を取り戻すことができました。



近畿自然歩道入り口の整備



ツルや枯れ枝の整理



ボランティアのメンバー

### 近畿自然歩道沿いに投棄された荒ゴミも撤去

2月の整備作業で近畿自然歩道沿いの斜面に投棄された荒ゴミを発見しました。3月17日は、ゴミ捨てを防止するために荒ゴミの撤去にも取り組みました。

ササの繁茂した斜面に安全ロープを垂らして、投棄された様々な家庭ゴミに唾然としながら、回収を行いました。電子レンジ、トースター、電気プレートがありました。ラックや包丁、大きな靴、衣料の類、段ボールなど。全体で2立方メートル、約20キログラムくらいにもなりました。



斜面でのゴミ回収



投棄された大量の荒ゴミ

## 【これからの活動計画】

### 平成19年度は第2年度環境整備計画を実施

平成18年度は「六甲山環境整備協議会」を設立して、公益法人自然保護ボランティアファンドの助成金を軸にして、近畿自然歩道沿いの環境整備活動を推進しました。

報告のとりまとめをする予定ですが、自然環境の保全と整備をする市民団体・研究機関・行政機関の連携を図れたことが大きな成果です。また、地権者である阪神電鉄系の2社に協力団体として加わっていただきました。

第1期環境整備計画としては、斜面のササ刈りで出現した植生の観察・調査や、繁茂したアセビの枝切り、山道の補修などを行い、安全で快適な散策路へと整備できました。

平成19年度の第2年度環境整備計画では、これまでの活動を継続することに加えて、対象地域についての環境調査に着手するのを大きな特徴としています。

近畿自然歩道に隣接する雑木林を実測調査して、地形図を作成する予定です。そして現有の植生を調査して植生図も作成します。これらによって、対象地域の実態を具体的に把握することに務めます。

そして、これまで実施されていなかった水生動物の生態調査にも着手し、継続的に観察・調査をしていきます。これらの調査活動には、六甲山小学校や子どもパークレンジャーの参加や一般市民の参加も求めています。多くの人たちが六甲山上の自然環境の保全と整備に関わっていただきたいと願っています。

(文責:堂馬英二)





# 六環協ニュース 第6号

六甲山環境整備協議会 2007年6月1日発行

## 【6月の活動予定】

### 6月12日(火)に第2回総会を開催します。

六甲山環境整備協議会の第2回総会を、6月12日(火)18:00~19:00の予定で、六甲道勤労市民センター5階E会議室で開催します。

議案は平成18年度活動報告と平成19年度活動計画の検討になります。平成18年7月に六甲山の自然環境の保全と景観整備に関わる官民含めた諸団体が連携して当協議会を設立して、1年近くになります。現在の活動を定着させて、今後の展開を考える機会になります。

総会の終了後には懇親会も会費制で用意しています。参加された皆さんの交流が深まることも期待しております。参加ご希望の方は事務局にご連絡ください。

### 6月16日(土)は、第3回の生態調査を実施します。ごぞってご参加ください。

第3回の水生生物の生態調査を6月16日(火)10:00~12:00に実施します。今回はモリアオガエルの繁殖期にあたりますので、「2つ池」周辺に生息しているモリアオガエルが樹木に産み付けた卵胞の観察調査をします。

参加ご希望の方は10時に、六甲山自然保護センターのレクチャールームに集合してください。作業用の道具類は用意していますので、初心者の方や一般市民の方も歓迎します。

詳細は事務局にお問い合わせください。

※なお、当日の午後1時から第51回六甲山魅力再発見市民セミナー「水生生物の生態調査」(講師:三橋弘宗保さん)を開催しますので、引き続きご参加ください。

## 【4~5月の活動報告】

「六環協ニュース」の第5号の発行から第6号の発行が遅くなりましたが、この間の活動をまとめて報告します。

5月19日は「六甲山自然保護センターを活用する会」の総会が開催され、月例の環境整備活動は取りやめました。

### 4月12日(木)に第1回生態調査を実施。

六甲山上では初めての試みになると思われませんが、「水生生物の生態調査」の第1回を実施しました。4月12日(火)13:30~16:00で、県立人と自然の博物館の三橋弘宗先生にご指導をお願いしました。



「2つ池」での水生生物の生態調査

自然保護センターに集まった10人のメンバーが、調査についての意見交換を行い、「2つ池」周辺に出かけました。上の池で、三橋先生から調査の実地指導を受け、小さい水生生物を探しながら初めての体験を楽しみました。下の池は水が滞留し、水生生物は見あたりませんでした。期待したよりも生物相は貧弱な様子でした。

調査後に自然保護センターのテラスで日に当たりながら、調査の結果や今後の調査の進め方を検討しました。六甲山の湿地帯にかつてはあったと思われる稀少植物を再生できないかなど、大きな夢も膨らませました。



テラスで調査のまとめ

### 5月13日(日)に第2回生態調査を実施。

第2回の「水生生物の生態調査」を5月13日(日)13:30~16:00で実施しました。今回からは市民が自主的に生態調査を継続していく準備という位置づけをしました。

10月20日の第55回六甲山魅力再発見市民セミナーで、「六甲山の水生生物」のテーマで講師をお願いしている、神戸市保育士の久門田充さんにご指導をいただきました。



上の池で池底の様子を調べる



捕まえたタゴガエル?

参加者10人で調査の進め方を確認し、「2つ池」へと向かいました。上の池で、久門田さんは池の中央部まで入って調査をされました。水質や池底の状態などの環境状態も調査項目に加えました。上の池の中央部は胸近い深さがあり、驚きました。

下の池はやはり生物相は貧弱なので、下部の谷あいに移動しました。カエルの鳴き声がうるさいほどだったので、皆で正体を確かめることにしました。岩に裏などを探して、Y君が一匹を捕まえました。アカガエル科の「タゴガエル」と判断しましたが、改めて同定することにしました。

目立った生物に出会わなかっただけに、この「タゴガエル」は今回の大成果だと喜びました。調査後のまとめで、次回はモリアオガエルの卵胞の観察調査をすることを決めました。

## 【これからの活動計画】

### 平成19年度の活動計画の修正

当協議会を設立するきっかけになった「自然保護ボランティアファンド」の平成19年度の助成金は認定されませんでした。自己資金や他の助成金などで活動資金を充足すること、活動計画の内容についての見直しが必要になりました。

6月12日の総会で皆さんと検討を加えて、活動計画を一部修正し、さらに効果的な活動を期していきます。

(文責:堂馬英二)

発行:六甲山環境整備協議会・事務局(六甲山自然保護センターを活用する会)  
〒657-0028 神戸市灘区森後町 2-1-3 ワークスタイル研究所内 TEL:078-856-4756/FAX:078-856-6616  
E-mail:info@rokkosan-katsuyo.com http://www.rokkosan-katsuyo.com/

※この活動には「セブン-イレブンみどりの基金」などの助成金が交付されています



## 【1月の活動予定】

### 1月8日(火)に中間報告会を開催します。

このたび、平成20年1月8日(火)18:00~19:30の予定で、六甲道勤労市民センター5階E会議室にて平成19年度中間報告会を開催いたします。

さる6月12日(火)には六甲山環境整備協議会の第2回総会を開催しました。その際に承認された事業計画に基づいて、6月~12月の活動報告と1~3月の活動計画を中心テーマにして意見交換を図ります。

会合の終了後には会費制の交流会も用意しています。参加ご希望の方は事務局にご連絡ください。

### 1月19日(土)の午前中は環境整備活動です。

1月19日は六甲山YMCAで第58回市民セミナー「絵葉書で見る六甲山」(石戸信也講師)が開催されます。当日の午前中に環境整備活動を実施します。二つ池周辺の環境調査などを予定しています。

参加ご希望の方は六甲山YMCAに10時にご集合ください。

### 1月20日は「六甲山の冬をあそぼう4」を開催

子ども・家族を対象にした環境学習プログラムとして、恒例の「六甲山の冬をあそぼう」の第4回目を1月20日(火)に開催します。大変好評で、すでに募集人数の50名に達しています。

今回は六甲山の最高峰に登ってみようという試みを入れました。運営スタッフとして協力していただける方は「六甲山自然保護センターを活用する会」事務局までご連絡ください。

## 【6~12月の活動の概略】

「六環協ニュース」の第6号を発行して以来、約半年間休刊してましたので、改めて6ヶ月間の活動の概要をご報告します。

### ①月例で近畿自然歩道の景観整備を実施

原則として「市民セミナー」の開催日の午前中には、近畿自然歩道の散策路沿いのササ刈りなどを継続しています。6回実施し延べ80名が参加しています。自然歩道の東端はツル植物を手入れたので、明るい景観になりました。散策路のササを刈った所で、植生の再生が進んでいます。



散策路のササ刈り

### ②植生の変化を継続して観察

ササ刈りの後の植生の再生や変化について観察を続けています。10mの区画に分けてササの密度や植生の状況を観察しています。

11月には二つ池の周辺の樹木などを含めて植生調査を実施しました。7回実施し延べ32名が参加しています。



散策路脇のアキノタムラソウ

### ③水生生物の生態調査を本格的に実施

今期の景観整備活動で特筆できるのは一連の「水生生物の生態調査」です。「市民セミナー」開催日の景観整備活動と連動する場合や調査チームが単独に調査するなど、10回実施し延べ45

名が参加しました。11月には「しみん基金・こうべ」から助成を受けることができたので、二つ池の水生生物の生態調査を本格的に実施することになりました。総合的な環境調査に発展することを目指しています。



水生生物の生態調査



二つ池の実地測量

### ④環境学習のフィールドづくりを進める

二つ池と周辺の雑木林一帯を対象にして、総合的な環境調査を行うとともに、学習のフィールドとして自然環境の保全と整備を図ろうとしています。

10月から二つ池の実地測量を行い、基本となるデータを整理しました。12月には、東側の雑木林の中に10m×30mの調査区域を設定しました。これらの調査を3回実施し延べ21名が参加しました。

### ⑤環境整備活動への市民参加の促進

二つ池と周辺の雑木林一帯を対象に、市民のボランティア活動を促進して環境調査や環境整備を行うことを目指しています。その底辺づくりになると考えて、子どもを対象にした環境学習プログラムとして、「夏の子どもパークレンジャー」と「六甲山の夏をあそぼう2」を環境整備活動の対象地域で開催しました。総勢117名が参加しました。

また、神戸県民局の委託を受けて、7月~11月の5回の「市民セミナー」を「環境整備型の市民セミナーシリーズ」に改訂しました。延べ46名がボランティア活動に参加しました。

## 【これからの活動計画】

平成19年度の終盤になる1~3月の環境整備活動については、来年度の活動を支えるための基盤づくりや予備調査を行うことを重点にします。その要点として次の3つを考えています。

### ①近畿自然歩道の景観整備活動

近畿自然歩道沿いの区画区分を延長して、ササ刈りを行い、植生変化を継続観察する態勢を整えます。また、二つ池東側の雑木林の調査区画の設定を充実しつつ、植生調査の計画を練ります。

### ②二つ池と周辺地域の環境調査

二つ池と周辺を自然環境の保全と自然再生を考えるモデル地域とみなして、総合的な環境調査を進めます。水生生物の生態調査、周辺の植生調査を進めます。

### ③環境学習プログラムの推進

2月3日(日)に開催する4~6年生対象の「冬の子どもパークレンジャー2」では、二つ池の環境調査の実習活動を組み込んでいます。初年度は「自然観察に親しむ」、2年目は「環境調査に取り組む」、3年目は「季節の環境変化や地域の生態系を把握する」という、3段階のステップ学習に整備しながら推進する予定です。

(文責:堂馬英二)



## 【4～5月の活動予定】

### 本年度の景観整備計画を見渡す調査をします。

4月12日(土)に、「ひととはく」の高橋晃先生にご指導いただいて、二つ池周辺の景観整備や環境調査の構想を練るための現地調査を行います。ご関心のある方は、11時に自然保護センターにお集まりください。

### 4月19日(土)の午前中は環境整備活動です。

本年度最初の環境整備活動は、第61回市民セミナー「六甲山系を含む里山保全と環境学習」(小川雅由講師)前の午前中に行います。二つ池周辺の環境調査などを予定しています。

参加ご希望の方は自然保護センターに10時にご集合ください。

### 5月17日(土)は「六甲山自然保護センターを活用する会」の総会を開催します。

「六甲山自然保護センターを活用する会」の第6回総会が、5月17日の10時から11時30分の予定で、自然保護センターのレクチャールームで開催されます。六甲山環境整備協議会の事業活動に関わる議案も検討されます。「活用する会」会員の方のご出席をお願いします。

## 【1～3月の活動の概略】

「六環協ニュース」の第7号を発行して以来、3ヶ月間休刊してましたので、改めて3ヶ月間の活動の概要をご報告します。

### ① 1月8日に平成19年度中間報告会を開催

平成20年1月8日(火)18:00～19:30、六甲道勤労市民センター5階E会議室で平成19年度中間報告会を開催しました。構成団体や関係団体の代表の方や会員有志など20名が参加しました。報告会終了後の交流会にも17名が参加し、環境整備をめぐる意見を交換しました。

本年度後半にいただいた「しみん基金・こうべ」の助成金で、対象地域の測量や観察・調査用の機材を購入し、環境調査の本格的な実施に備えました。これらの活動ぶりを調査リーダーの藤井宏一郎さんから説明を受けました。

### ② 2月例の散策路整備活動

1月19日第58回市民セミナー、2月16日第59回、3月15日第59回の午前中に定例の整備活動を行いました。積雪の中で調査対象区画の再設定などを行い、「二つ池」の水生生物の調査、樹木の観察調査も継続実施しました。5回実施して延べ40名が参加しました。



### ③ 1月20日(日)は「六甲山の冬をあそぼう4」

1月20日には「六甲山の冬をあそぼう4」を開催しました。子ども・家族50名の参加者で、積雪の六甲山最高峰に登頂しました。その後六甲山小学校に集って交流し、記念碑台周辺の散策路を訪ねました。校で交流し散策路に出かけて冬の六甲山を体感してもらいました。

スタッフ20名で世話をし、安全確保を図るとともに、自然観察の案内をしました。

総勢70名の参加者全員が六甲山の冬の魅力を堪能し、期待通りに四季の六甲山に親しむ機会になりました。



### ④ 2月3日に「冬の子どもパークレンジャー2」

2月3日(日)には、環境省主催の「子どもパークレンジャー～探ろう冬の六甲山2～」を開催し、参加者とスタッフで総勢41名が参加しました。六甲山小学校を拠点にして、子どもパークレンジャーの任命式の後、景観整備活動の対象地域に出かけて、降りしきる雪の中で植物観察や水生生物の調査を体験しました。

昼食は恒例の豚汁に舌鼓し、午後からは調査のまとめや、ほだぎの虫探しをしました。冬の六甲山の生命の営みに関心を深め、「また参加したい」と感激を發表しました。



雪の中の植物観察



ほだぎの虫探し

## 【平成20年度の活動計画】

平成19年度終盤の1～3月は、積雪のために環境整備活動は停滞気味になりましたが、来年度の環境整備活動の基本的な方向を固めることを目指しました。特に、「二つ池」の水生生物の生態調査に注力してきたこと、調査区画を設定したことなどを踏まえてチームでの分担活動を考えました。これらについては、4月12日の現地調査によって内容を煮詰める予定です。

### ① 近畿自然歩道の景観整備活動チーム

近畿自然歩道沿いの区画区分を延長して、ササ刈りを行い、植生変化を継続観察する態勢を整えます。「自然案内人の会」の皆さんに、継続的な植生の変化を観察してもらいます。

### ② 二つ池と周辺地域の環境調査チーム

二つ池と周辺を自然環境の保全と自然再生を考えるモデル地域とみなして、総合的な環境調査を進めます。水生生物の生態調査は久門田さんを中心とする水生生物の調査チーム、周辺の植生調査は「自然案内人の会」の有志の方をお願いします。

### ③ 調査区画で「環境創成」を目指すチーム

二つ池東側の尾根に設定した10M×30Mの調査区画で、長期的な「環境の保全と整備」を目指した活動を行います。現状の植生や環境を調査しながら、環境整備に着手した場合の変化の実態を追跡調査していきます。周辺の生物への影響なども把握し、「環境創成」につながるモデルになる試みをしたいと考えています。このテーマの活動については、大所高所の判断を基にしています。

### ④ 「六甲山子どもパークレンジャー」の運営

環境省主催で軌道に乗ってきた「子どもパークレンジャー」の事業が環境省では中止になりました。四季の六甲山に親しんでもらうイベントも4年間行ってきましたので、当会が主催して六甲山らしい環境学習プログラムを自主運営することを決めました。

支援母体として「六甲山子どもパークレンジャー・クラブ」を設立する予定です。神戸県民局の環境学習プログラム募集に「2008年夏の六甲山『子どもパークレンジャー』を育てよう」を提案します。

(文責: 堂馬英二)



## 【6～7月の活動予定】

### ①「子どもパークレンジャー」の募集を開始

「2008年夏の六甲山・子どもパークレンジャーを育てよう」が神戸県民局の環境プログラム提案に採択され、参加者募集を始めました。8月3日(日)開催で、受付締切りは7月20日です。

企画運営を担う「子どもパークレンジャー・(サポート)クラブ」メンバーも募集しています。案内チラシなどの資料をご請求ください。



### ②7月5日(土)に「特別観察会」を行います。

6月下旬の二つ池周辺の樹木にはモリアオガエルの卵塊が沢山見られます。水生生物調査リーダーの久門田充さんが観察会「モリアオガエルの楽園へ行こう」を7月5日に開催します。自然保護センター前に17時15分集合、解散は20時30分の予定です。参加ご希望の方は、事務局にお問い合わせください。

### ③7月19日(土)に第3回環境整備活動を予定

7月19日に第64回市民セミナー「六甲山の履歴書～刻まれた足跡～」(安井裕二郎講師)が開催されます。当日午前中に第3回目の環境整備活動を実施します。近畿自然歩道沿いのササ刈りや二つ池周辺の環境調査などを予定しています。自然保護センターに10時集合です。こぞでご参加ください。

## 【4～6月の活動の概略】

### ①4月は環境整備活動の方向を固めました。

4月12日(土)に「ひとほく」の高橋先生に指導していただき、平成20年度の環境整備活動を検討しました。

11時に自然保護センターに11名が集合し、二つ池周辺地域を観察調査しました。

水生生物などへの影響を考慮して、10M×30Mの調査区画も分水線の東側方向にずらすことなどを決めました。

続いて4月19日(土)には、第61回市民セミナー「六甲山系を含む里山保全と環境学習」(小川雅由講師)の午前中に、第1回の環境整備活動を行いました。

11名が参加し、近畿自然歩道の整備、散策路の観察、調査区画の再設定、水生生物の生態調査を分担して実施しました。平成20年度の活動の方向を固めることができました。

### ②5月18日(日)に水生生物の調査を実施

5月18日(日)に水生生物の調査チームが臨時的生態調査を実施しました。久門田、伴、渡辺、藤井の4名が二つ池の水生生物や周辺の環境を観察調査して、今年度に行う継続的な観察・調査のための方針や計画の具体化を進めました。



二つ池での観察調査

### ③6月5日(木)に知事表彰を受けました

6月5日に兵庫県公館で、「活用する会」が平成20年度兵庫県環境保全功労者(団体)の知事表彰を受賞(藤井・尾崎)が出席しました。

6年半にわたる環境保全の活動が評価されたもので、実践の担い手である「六甲山環境整備協議会」に注目が高まり、活動を勇気づけられました。



### ④6月10日(火)に総会を開催しました

六甲山環境整備協議会の平成20年度総会(第3期)を、6月10日18時～19時30分で六甲山労務市民センター5E会議室にて開催しました。関係者14名が参加し、活動報告や活動計画を承認した後、意見交換を行いました。

「子どもパークレンジャーを育てよう」の運営について様々な提案があり、環境整備活動についても近隣対策を助言いただきました。

19時45分からは近所の居酒屋に移動して懇親会を行いました。11名が参加し、活発に意見を交わしました。



平成20年度総会

### ⑤助成金報告を終え新たに助成金を得ました

5月30日(金)の「しみん基金・こうべ」の平成19年度助成金報告会に堂馬・藤井・伊達が出席し、活動報告をしました。特に、環境調査活動を大きく推進できたことに謝意を表しました。

平成20年度に「活用する会」が申請した助成金のうち、環境整備や環境調査に利用できる3件の取得が決まりました。

コベルコ環境保全基金は継続の10万円、自然保護ボランティアファンドは復活の25万円、新規のTaKaRaハーモニストファンドは2年間で50万円です。

自然保護ファンドは六甲山環境整備協議会の基幹活動に充てます。

TaKaRaハーモニストファンドの助成金は環境調査活動と環境学習プログラムの進展を図るために活用させていただきます。



TaKaRaハーモニストファンド 助成金贈呈式

### ⑥6月21日(土)に第2回環境整備活動を実施

6月21日の第63回市民セミナー「六甲山の霧」(平木隆年講師)の当日午前中に、第2回目の環境整備活動を実施しました。テーマにぴったりの霧の中で、近畿自然歩道沿いのササ刈りと二つ池の水生生物の生態調査や周辺の環境調査などを実施しました。六甲山小学校の大石さん親子を含む14名で活動しました。

(文責:堂馬英二)



## 【1～3月の活動予定】

### ①平成20年度中間報告会を開催します

六甲山環境整備協議会の第3期の中間報告会を、1月13日(火)18時から六甲道勤労市民センターで開催します。平成20年度4月～12月の活動実績を総括し、終盤の1月～3月で活動の仕上げを図るための報告と検討を予定しています。

出席者の皆様のご意見を集め、今後の環境整備活動で目指す姿や基本方針を再構築する機会にしたいと願っています。

### ②1～3月は環境系の市民セミナーを開催

六甲山自然保護センターを活用する会が主催する「六甲山魅力再発見市民セミナー」は70回を迎えます。1月17日に第70回、「自然の家」における環境学習支援(講師:池田憲氏)。2月21日に第71回、六甲山系最大のススキ、ネザサ草原、東お多福山の現状(講師:橋本佳延氏)。3月21日は第72回、六甲山グリーンベルト整備事業について(講師:赤曾俊則氏)で、いずれも六環協の活動に密着したテーマで、会場は六甲山YMCAです。

### ③平成20年度終盤の環境整備活動

平成20年度の1～3月の環境整備活動は、市民セミナーの開催日の午前中に定例活動として実施します。景観整備、植生調査、水生生物の生態調査、環境学習フィールドづくりという4つの活動区分で、それぞれの仕上げを目指します。2月・3月には臨時の活動日を設けて作業工数の不足を補って、平成20年度の活動実績のまとめに結び付けていく予定です。六甲山上に冠雪も見られる寒い季節ですが、多数のご参加を願っています。

### ④冬の「子どもパークレンジャー」の参加者募集

2009年冬の六甲山「子どもパークレンジャー」を目指そうを2月1日に開催します。すでに灘区内小学校の児童全員に案内チラシを配付するなど、参加者を募集しています。

参加申し込みの締切りは1月20日で定員数に近づいています。22日には最終の実行委員会を開催して運営に当たります。ご支援ご協力をよろしくお願いいたします。



冬の子どもパークレンジャー

## 【7～12月の活動の概略】

### ①7月～12月は環境整備活動を継続実施

7月以降11回の環境整備活動を実施し、延166名が参加しました。市民セミナー開催日の午前中に行う定例の環境整備活動、臨時のボランティア活動、2回の特別観察会、夏の子どもパークレンジャーと多様な活動を進めました。

景観整備として散策路のササ刈りを3回(14名)、植生調査を2回(3名)、水生生物の生態調査を3回(7名)、そして環境学習フィールドづくりとして実験区画の設定や調査を5回(29名)です。



実験区画の樹木調査

そして、市民参加の促進として四季の環境学習プログラムを3回(116名)実施しました。

### ②夏の子どもパークレンジャーには72名が参加

8月3日に2008年夏の六甲山「子どもパークレンジャーを育てよう」を、神戸県民局の環境学習プログラムとして、六環協と共同主催で実施しました。

小学3年生～6年生の児童を継続的にナチュラルリストに育てていくパークレンジャーコースと、初心者にも六甲山に親しんでもらうファミリーコースの2コースを設定しました。関係者のご尽力で参加者総数72名の大きなイベントとなりました。

また、参加者は「子どもパークレンジャー・クラブ」に登録してもらって、ご賛同のご父兄に「サポート会員」になってもらいました。今後は「サポート会員」を軸にして、小学校区を越えた環境学習サークルとして活動を展開することを目指していきます。

### ③7月・9月には特別観察会も実施

環境整備活動の中で、植生調査や水生生物の生態調査を継続しています。対象地域の「二つ池周辺」では、モリアオガエルの生態などにも関心を注いでいます。

四季の子どもパークレンジャーという一環で、水生調査のメンバーが特別観察会を2回(44名)開催しました。7月5日は「モリアオガエルの観察会」、9月20日は「オオルリヤンマを探そう」です。「二つ池周辺」という小さな生態系を地道に観察・調査していたことから、稀少の小生物の存在という魅力を発見することにもつながりました。



モリアオガエルの卵塊



トンボの観察会

### ④10月に環境省からアセビの伐採許可を取得

平成20年度の重点課題は「二つ池」東側に実験区画を設定して、アセビの密生した雑木林を自然植生の遷移に復活する「環境創成」の試みに着手することでした。「ひとく」の高橋晃先生の推薦で、9月末に異動された環境省の自然保護官の七目木さんにお世話いただき、環境省から実験区画の「木竹伐採許可」をいただきました。しかし、神戸市や兵庫県条例・規制をクリアしていないため、アセビ伐採のための準備活動を続けています。土地の所有管理をされている六甲摩耶鉄道(株)に、対象地域の使用許可をいただく調整を進めてもらっています。当会の環境整備活動が公的な活動として広がっていく段階にあります。

### ⑤イオン環境財団から来年度助成金の認定

平成21年度の環境整備活動について、5件の助成金申請を行っています。12月に(財)イオン環境財団から、六甲山自然保護センターを活用する会に対して助成金の認可の通知をいただきました。六甲山上の環境整備活動が広く理解されて、ご支援をいただけるようになったことを感謝し、期待に応える活動を進めたいと考えております。

### ※六環協ニュース発行が大変遅れました

6月に「六環協ニュース第9号」を発行して以来、半年近くなりません。第10号の発行が遅くなったことをお詫びいたします。

(文責:堂馬英二)



## 【6月後半～8月初めの活動予定】

### ①平成21年度総会を開催します

六甲山環境整備協議会の第4期の総会を、6月17日(水)18時から(財)神戸学生青年センターで開催します。平成20年度4月～平成21年3月の活動実績を報告し、平成21年4月～平成22年3月の活動計画を検討します。

出席者の皆さんのご意見を集めて、自然探勝エリアの構想や植生再生の試みを具体化する機会にしたいと願っています。

### ②6月後半～7月はアセビの伐採に着手

6月後半からはアセビの伐採に本格的に着手するための準備活動を進めます。6月20日の第75回市民セミナーの午前中には、神戸大学のESDの学生4名も迎えて環境整備活動を行います。6月26日にも臨時の環境整備活動を行います。

神戸市の木竹伐採許可が下りれば、アセビの伐採に着手する予定です。7月7日(火)、14日(火)、21日(火)の3日を臨時の伐採予定日として設定しました。アセビの後処理の問題を含めて、さまざまな課題について6月中旬に検討したいと考えております。皆さんのご参画を大いに期待しております。

### ③夏の「子どもパークレンジャー」の開催

平成21年度の「夏の六甲山子どもパークレンジャー」を8月2日に開催します。今回はコープこうべ環境基金の助成金を得ることができました。昨年に設立した「六甲山子どもパークレンジャー・クラブ」の定例活動として位置づけています。「サポート会員」の皆さんに支援していただき、小学校区を越えた環境学習サークルを運営していきます。近日中に案内・募集をします。

## 【1～3月の活動の概略】

### ①1月～3月は定例環境整備と実地観察

1月から3月の市民セミナー開催日の午前中に3回の月例環境整備活動を行いました。近畿自然歩道沿いのササ刈りと植生の観察を行い、コース上に4箇所の定点観察区画を設定しました。今後は植生変化の推移を継続的に観察調査します。

アセビ伐採の実験区画についても、樹種や林床の観察調査を行い、伐採前の状況を把握しました。さらに周辺地域一帯を実地踏査して、測量をするための下見をしました。3回で延べ41人が参加しました。平成20年度の環境整備活動は15回で、延べ144名が参加しました。

### ②冬の子どものパークレンジャーには92名が参加

2月1日に、2009年冬の「六甲山子どもパークレンジャーを指そう！」を開催しました。暖冬で六甲山上の氷の祭典が中止される不順な天候でしたが、当日は幸運にも積雪に恵まれて参加者は大喜びでした。初心者グループと経験者グループに分かれて活動し、午前中は観察調査、午後は調査のまとめやホダギの虫探しに熱中しました。

子ども52名、大人13名、スタッフ27名を合わせて92名という大きなイベントを盛況で終えました。



六甲山小学校体育館で集合

平成20年度の環境学習には、子ども94名、大人44名、スタッフ51名で延べ189名が参加しました。

## 【4～6月前半の活動の概略】

### ①4月は植生回復の観察、池の貝の同定

4月18日の第73回市民セミナーの午前中に、環境整備活動を行いました。再生植生の観察調査、実験区画の現状確認、二つ池下池の簡易測量、それに水生生物の生態調査と多様です。水生生物の調査でみつけた貝は市民セミナー講師の大原さんにドブシジミだと同定していただきました。



定点観察の区画設定

### ②神戸市からも木竹伐採の許可を得た

昨年度は六甲山記念碑台周辺の近畿自然歩道に隣接する雑木林の中に、繁茂するアセビを抑制して自然植生を回復する10m×30mの実験区画を設けました。昨年10月に環境省から自然公園法の「木竹伐採」の許可を得ました。以降、樹種や現有植生の調査、実験区を含む雑木林の実測などを続けてきました。

このたび神戸市に、緑地育成と風致地区の2つの条例について「木竹伐採」の許可を申請し、6月15日付で受理されました。7月から実験区画の半分でアセビを伐採し、半分は未処理区とし、長期的に植生の変化などを観察調査していきます。さらに、実験区画を含む山林約1.2haについても植生調査を進めて、環境学習に適した地域として保全と整備を目指していきます。

### ③モリアオガエルの特別観察会を実施

6月13日(土)に、神戸県民局の環境学習プログラムの委託を受けて、「六甲山子どもパークレンジャー・特別観察会」第1回「二つ池でモリアオガエルの卵塊を調べよう！」を開催しました。



二つ池でモリアオガエルの卵塊調べ

午後2時半に県立六甲山自然保護センターに集合し、二つ池を下見してセンターに戻り、モリアオガエルの解説を聞きました。久門田さんと渡邊さんの指導のもと、二つ池の下池と上池で卵塊の数を調べました。昨年よりは少なく約30個を確認しました。

終盤はセンターの屋外で調査まとめをして、午後7時に外気が冷え込んでくる中で、再開を約束しながら解散しました。親子28名、神戸大学のESDの学生4名も加わって、総勢49名が参加しました。

### ※六環協ニュース発行が大変遅れました

1月に「六環協ニュース第10号」を発行して以来、半年近くが過ぎました。第11号の発行が遅くなりお詫びいたします。

(文責:堂馬英二)



## 【12月後半～3月の活動予定】

### ①平成21年度中間報告会を開催します

六甲山環境整備協議会の第4期の中間報告会を、1月12日(火)18時から(財)神戸学生青年センターで開催します。平成21年度4月～12月の活動実績を報告し、平成22年1月～3月の活動計画、および平成22年度の事業計画を検討します。

アセビ伐採調査に進展した環境整備活動を踏まえ、「二つ池環境学習林」(仮称)を保全・整備し活用する将来構想や、実践活動の立案に、出席の皆さんからご意見を求めています。

### ②冬の「子どもパークレンジャー」の開催

2010年冬の「六甲山子どもパークレンジャーを目指そう!」を1月31日(日)に開催します。これまで3年の開催経験を生かしつつ新たな創意を加えて、六甲山らしい環境学習プログラムを推進します。活動フィールドを「二つ池環境学習林」と名づけて、環境の保全・整備と連動し、植物や生物の調査に加えて、雑木林の中での自然観察も取り入れて、多角的な体験学習ができるようにしていきます。

### ③1～3月は「二つ池環境学習林」のエリア調査

六甲山の冬期は積雪もありますが、樹木の落葉で見通しがよく、対象地域の簡易測量を行うのに適しています。対象地域全体のイラストマップを作成して、目指す景観設計を検討していく予定です。また、可能な限り、植生回復の観察調査や、水生生物・昆虫の調査も実施します。

## 【6月後半～8月の活動の概略】

### ①6月後半～8月はアセビの伐採調査に集中

月例の環境整備活動を実施すると共に、アセビ伐採調査区の現状調査を行ったうえで、アセビの毎木調査を行い、東1～東6区画でアセビ約80本を伐採しました。6月下旬に2回、7月に5回、8月に2回の活動を実施し、延べ73人が参加しました。



アセビ伐採と測定

アセビの伐採にあたっては、樹高、胸高直径、被度、葉っぱの重量、年輪などを測定しました。伐採したアセビの再利用について、NPO法人「環境21の会」の協力で、炭に焼くことにしました。事務局長の竹重さんたちにも参加していただき、伐採したアセビを1mに裁断して、7月下旬には姫路市夢前町の炭焼窯に搬入しました。夏のパークレンジャーで体験学習の教材に提供するため、数本のアセビを切り残しました。

### ②8月2日の「夏のパークレンジャー」は中止

今年は梅雨明けが遅れ、8月2日の午前中に大雨・洪水警報が発令されたため、2009年夏の「六甲山子どもパークレンジャーを目指そう!」の開催を中止しました。午後からは快晴になり、梅雨明け宣言されたのは皮肉な巡り合わせでした。定員一杯近い58名の参加申込みがあり、皆さんが大変残念がられました。



伐採したアセビの搬出

## 【9月～12月前半の活動の概略】

### ①アセビ伐採後の調査区画のフォロー

9月以降、市民セミナーの午前中に実施する月例の環境整備活動で、近畿自然歩道のササ刈りと再生植物の観察調査や、アセビ伐採区画の周辺部の下見調査などを行いました。11月にはアセビ伐採区画でアセビ切り株の幼芽の発生状態などを調査し、残置した落葉樹の毎木調査の事前準備をしました。アセビ伐採区画に比較して未処理区の西1～西6区画は照度が3分の1～5分の1と暗く、伐採区画が明るい雑木林になったと実感できました。

### ②オオルリボシヤンマの特別観察会を実施

10月4日(日)に、神戸県民局の環境学習プログラムの委託を受けた、六甲山子どもパークレンジャー第2回特別観察会「オオルリボシヤンマを探そう!」を開催しました。参加者は子ども13名、保護者5名の18名、スタッフ・関係者13名の合計31名が参加しました。オオルリボシヤンマは飛来しませんでした。ゆったりとしたスケジュールで秋晴れの六甲山と虫探しを楽しみました。



二つ池でトンボの観察

### ③アセビの炭焼き

7月下旬に環境21の会に委託していたアセビの炭焼きは、3ヶ月の自然乾燥を経て、10月と11月で、2回の窯入れが行われました。アセビの炭焼きは初めてで、試行錯誤を重ねて、備長炭に近い良質の炭に仕上がったとのこと。11月末に測定データを含めた「六甲山のアセビの炭化実験」報告書を送っていただきました。12月10日には炭焼きしたアセビ8kgを送っていただき、一部を企画展で展示しました。今後はアセビ炭の利用の仕方も考えていく予定です。



窯出したアセビ炭

### ④JR六甲道駅前で展示会を開催

12月8日(火)～15日(火)の8日間、神戸市立六甲道勤労市民センターで「六甲の語り部と昭和初期の絵葉書展」を開催しました。「昔の六甲を知ってみよう!」を主テーマにしましたが、主催の「六甲山を活用する会」の活動概況も紹介しました。六甲山環境整備協議会として推進している環境整備活動が、4年間で進化している様子をパネル展示しました。

来場者は昭和初期の珍しい写真類を食い入るように眺めていました。六甲山に登ったことなどを思い返しなが、「六甲山は神戸のシンボルだ」などと感想を口にしていました。地元の市民に六甲山との関わりを見直すきっかけを提供できました。



パネル展示を見つめる人

### ※六環協ニュース発行が半年毎になりました

6月15日に「六環協ニュース第11号」を発行して以来、半年が過ぎました。ご報告が遅くなって申し訳ありません。せめて、四季の発行ができるようにしたいと思います。(文責:堂馬英二)



## 【4月～5月の活動予定】

### ① 4～5月は「二つ池環境学習林」の構想

平成22年度は「二つ池環境学習林」の構想を具体化して、景観設計に着手するとともに、第2期の「アセビ伐採による植生回復調査」の実施計画をつくることを急ぎます。

「二つ池環境学習林」については、対象地域の下身調査を行って地形図を作成する必要がある。アセビ伐採調査については、対象区画の設定を検討する予定です。

### ② 4月17日の定例観察調査

冬期の期間は植生の変化も見られないので、市民セミナーの午前中は定例観察調査を行っている。4月になると早春の山野草が見られるので、観察調査に注力します。

4月17日(土)の第85回市民セミナーの午前中に、近畿自然歩道沿いの定点観察調査と、アセビ実験調査区画の観察調査、二つ池の観測を行います。

### ③ 5月に臨時環境整備活動

5月の第86回市民セミナーの午前中は、「六甲山を活用する会」の第8期総会を開催するため、月例の環境整備活動を実施しません。そのために、臨時の環境整備活動日を設定する。

定例の観察調査を実施するとともに、人と自然の博物館の高橋晃先生からアセビ伐採調査区画のフォローや、第2期の計画についてご指導を受ける予定です。5月20日の予定で参加者の募集を進めます。

## 【12月後半～3月の活動の概略】

### ① 12月19日に定例観察調査

12月の月例環境整備活動は、19日午前10時に六甲山ガイドハウスに9名が集まりました。アセビ伐採による植生回復調査の対象区画と非処理区画の現状調査、全域の下見調査の二手に分かれて活動しました。

午前8時で-8℃の冷え込みで、二つ池は凍結していました。ヒルムシロも緑のまま凍りついて、透明な氷は3cmの厚さでした。いよいよ、真冬のシーズンになったと実感しました。



凍結した二つ池で観察

### ② 1月12日に第4期中間報告会を開催

六甲山環境整備協議会の第4期の中間報告会を、1月12日(火)18時から(財)神戸学生青年センターで開催しました。参加者は16名で、平成21年度4月～12月の活動実績を報告し、平成22年1月～3月の活動計画、および平成22年度の事業計画を検討しました。

「六甲山を活用する会」幹事会と藤井さんから、「二つ池環境学習林」の基本構想の提案を受け、活発な意見交換を行いました。平成21年度のアセビ伐採調査から、活動を大きく進展させる見通しを立てました。



中間報告会

### ③ 冬の「子どもパークレンジャー」を開催

1月31日(日)に、2010年冬の「六甲山子どもパークレンジャー」を目指そう!」を開催しました。参加者はAコース27名、Bコース25名の52名で、運営スタッフ26名、オブザーバ2名の合計80名でした。あいにくの小雨模様で、期待していた雪や氷など厳冬の六甲山に触れられなかったです。午前中は近畿自然歩道の散策や、二つ池環境学習林での冬らしいものの探索をしました。午後は六甲山小学校で、ほだぎの虫探しや、採取したもののまとめをして、盛り上がりしました。



二つ池で観察



六甲山小学校に全員集合

### ④ 1月～3月の月例環境整備活動

冬期は市民セミナー開催の午前中に、近畿自然歩道沿いの定点観察区画の観察調査と、アセビ実験区および二つ池観察調査の2班に分かれて調査しました。気温、地温、照度など標準的な調査項目を決めて、継続観察しました。

1月は16日の午前10時に六甲山ガイドハウスに10名が集まりました。晴れたり曇ったりの天候で、気温は-1度、日陰には雪が残っていました。

2月は20日は8名が集まりました。天候は快晴で気温は3℃でした。近畿自然歩道の入り口辺りではアセビの花芽が色づいて、春が近づいていることを告げていました。植生の変化は目立ったものはなく、冬模様でした。アセビ実験区は1℃と寒く、二つ池の上池では大人が乗れるほどの氷の厚さでした。



積雪のアセビ実験調査区



凍結した下池の観測

3月は8名が集まりました。晴れたり曇ったりの天候で、気温は12.7℃と温かく、二つ池の氷は消えていました。実験区画では観察や学習に役立てるため、樹木名の標識をつけました。

### ⑤ 3月29日に臨時環境整備活動を実施

3月29日には、臨時の環境整備活動を7人で10時～15時まで行いました。

気温は1℃から-1℃と寒く、季節はずれの雪も降りました。午前中でササ刈りを中断し、午後からは二つ池降り口の階段づくりと、樹木名標識付けを行いました。

(文責:堂馬 英二)



アセビの腐材で階段を設置



## 【6～7月の活動予定】

### ① 6月8日に平成21年度総会を開催

六甲山環境整備協議会の第5期総会を、6月8日(火)18時から(財)神戸学生青年センターで開催します。平成21年度の活動実績を報告し、平成22年1月～平成23年3月の活動計画、および平成22年度の事業計画を検討します。

「二つ池環境学習林」の将来構想や景観設計、環境整備活動の具体策、その一環としての「アセビ伐採による植生回復調査」の実施計画などについて、皆さんのご意見を求めています。

### ② 6～7月は2回の観察会を予定

平成22年度は、四季の子どもパークレンジャーの試みとして、5回の環境学習プログラムを実施する予定です。



2010年「六甲山子どもパークレンジャー」特別観察会シリーズ  
第1回「二つ池でモリアオガエルを調べよう！」  
平成22年6月7日(日) 14:00～19:00  
※雨天決行(雨天時は中止)

#### モリアオガエルの案内チラシ

6月13日(日)に、特別観察会(1)「二つ池でモリアオガエルを調べよう！」を開催します。このプログラムは神戸県民局の六甲山自然保護センターを活用する環境学習プログラム提案で採択された委託事業の1つになっています。

7月3日(土)には、夜間観察会「記念碑台周辺でヒメボタルを調べよう！」を開催します。近畿自然歩道や二つ池周辺でヒメボタルが生息していることがわかったので、これまで会員の有志が発生時期に観察していました。今期から子どもパークレンジャーのアドバンス・プログラムとして実施することになりました。深夜の観察というこれまでにない試みで、どんな体験ができるのか、興味を強めています。

### ③ 6～7月は「第2期アセビ伐採調査」の推進

平成21年度に続いて、「アセビ伐採による植生回復調査」の第2期活動を実施します。六環協第4期中間報告会での検討や、5月20日の下見調査などを踏まえて、第1期の調査区画の北側に10M×10Mの4区画を設定することを考えています。

土地所有者の了解を得た上で、環境省と神戸市に「木竹伐採許可」の申請を行います。それと並行して、対象区域の区画割りやアセビの毎木調査を行い、調査実施活動の計画やスケジュールを具体化していきます。

### ④ 6～7月の定例観察調査と環境整備

6月19日(土)の第87回市民セミナーと、7月17日(土)の第88回市民セミナーの午前中に、月例の観察調査を実施します。近畿自然歩道の散策路に設置した定点観察区画の植生観察、第1期アセビ調査区画および二つ池の環境計測などです。

6月には本格的なササ刈りを実施する予定です。第2期アセビ伐採調査のための区画設定や毎木調査も行いますので、臨時に3日程度の環境整備活動が必要になります。ボランティア活動の参加者を広く募っていく予定です。

## 【4月～5月の活動の概略】

### ① 4月17日に定例観察調査

平成22年度初めての第85回市民セミナーの午前中に、月例の環境整備活動を参加者10名で2班に分かれて実施しました。

気温は10℃で春が遠のいた様な肌寒さでしたが、近畿自然歩道の定点観察区画附近にはシロバナショウジョウバカマなどが花をつけていました。アセビ調査区と二つ池の観察では、二つ池の上池に2羽のカモが飛来したのを発見して驚きました、悠然と泳いで飛び去りました。



シロバナショウジョウバカマ



二つ池で泳ぐカモ



近畿自然歩道の定点観察



二つ池での計測調査

### ② 5月20日に「二つ池環境学習林」の下見調査

5月15日(土)は六甲山を活用する会の第8期総会と重なり、午前中の定例環境整備活動を行わず、臨時の環境整備活動を5月20日10時～15時半で実施しました。

午前中は人と自然の博物館の高橋晃先生にご指導いただきました。第1期アセビ伐採調査区画の10ヶ月後の状況を観察しました。第2期アセビ伐採調査地候補地域の下見も行い、第1期の北側に4つの調査区画を設定することを検討しました。自然保護センターでの昼食後、下見調査の結果をまとめました。



アセビ調査区画の観察



高橋先生の指導

午後は月例の環境調査で、散策路の定点観察とササ刈りを実施しました。アセビ調査区画と二つ池の環境計測を行いました。水量は多く水質も澄み、アメンボウやアカハライモリが泳いでいました。6月13日のモリアオガエル観察会のコースも下見しました。



散策路の植生を観察

(文責: 堂馬 英二)



## 【9～11月の活動予定】

### ① 9月5日にトンボの観察会を予定

神戸県民局の六甲山自然保護センターを活用する環境学習プログラム提案で採択された、特別観察会(2)「二つ池でトンボたちを探そう!」を9月5日に開催します。昨年は観察を予定したオオルリボシヤンマが飛来しなかったため、今年はテーマを「トンボたち」に広げました。



トンボ観察会の募集チラシ

### ② 9月末に第2期「木竹伐採許可」の申請予定

平成21年度に実施した第1期アセビ伐採は処理区と非処理区を対比させながら、定期的に環境変化を測定しています。アセビを皆伐した処理区の照度は非処理区の約3倍の明るさになっています。5M×5Mの区画は狭いので、新たに10M×10Mの区画での調査を計画しています。

第2期の「アセビ伐採による多様な植生回復の調査」は、4区画を設定しました。樹種調査やアセビの毎木調査を進め、9月中旬に環境省と神戸市に「木竹伐採許可」を申請する予定です。

### ③ 9～11月の環境整備活動

9月から3ヶ月の環境整備活動は、第3土曜日午前中の定例環境整備活動を継続するとともに、第2期アセビ伐採の準備を進めます。「木竹伐採の許可」が承認され次第、5日程度の臨時環境整備の日程を決めてアセビ伐採を行います。その際に、アセビの毎木調査も実施します。12月になると積雪の可能性もあるので、極力、11月中旬に伐採作業を終え、12月には伐採したアセビを炭焼き窯に搬入したいと考えています。

## 【6月～8月の活動の概略】

### ① 六甲山環境整備協議会総会を開催

(財)神戸学生青年センターで6月8日(火)18時から、六甲山環境整備協議会の第5期総会を開催しました。平成21年度の活動実績を報告し、平成22年4月～平成23年3月の活動計画、および平成22年度の事業計画を検討しました。

総会後は懇親会に移り、兵庫県立人と自然の博物館の高橋晃先生を交えて、アセビ伐採後の調査活動や今後進めていく「二つ池環境学習林づくり」について、親しく談論しました。

### ② 6月～8月の子どもパークレンジャー

平成22年度は四季の環境学習プログラムとして5回の開催を計画しました。6月からは毎月イベントを開催しました。

■6月13日(日):神戸県民局の環境学習プログラム提案で採択された、特別観察会(1)「二つ池でモリアオガエルを調べよう!」を開催しました。入梅当日で参加者・スタッフ32名が参加。二つ池で雨に打たれながらモリアオガエルの卵塊を観察し、記念碑の東屋で野外工作も体験し、六甲山の雨という印象深い体験をしました。



雨の中、二つ池で特かに観察

■7月10日(土):3日の予定を雨で中止したので、希望者を集めて臨時的な夜間観察会「記念碑台周辺でヒメボタルを調べよう!」を開催しました。21名が参加し、19時～21時まで近畿自然歩道沿いに観察しました。暗闇に目を凝らして小さなフラッシュ光を数え23個体を確認しました。



夜の林道で観察

■8月1日(日):2010年夏の「六甲山子どもパークレンジャーを目指そう!」を開催しました。参加者19名・スタッフ8名の27名で、二つ池の水生物の調査や、近畿自然歩道散策をグループに分かれ実施しました。



水生物の調査

### ③ 6月～8月の環境整備活動

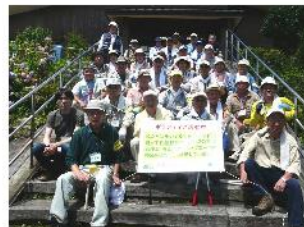
6月からの3ヶ月間の環境整備活動は、定例の観察調査を続けながら、臨時活動で第2期アセビ伐採調査の準備を整えることに注力しました。活動状況は次の通りです。



モリアオガエル卵塊の観察



第2期調査区画の設定



清掃びかびか隊が応援



アセビ調査区画の樹種調査

- 6月19日(土):9名で定例活動を実施し、二つ池でモリアオガエル卵塊78個(上池40個、下池38個)も観察しました。
- 6月24日(木):7名で臨時環境整備として、第2期アセビ伐採の候補地を選定し、10M×10M4区画を設定し、アセビの樹木数合計約130本も数えました。
- 7月17日(土):定例活動には、イベント清掃びかびか隊23名が参加されました。34名の多人数で自然歩道のササ刈りと植生観察、第2期アセビ伐採予定地の調査を行いました。
- 8月10日(火):イベント清掃びかびか11名を含めて17名で臨時環境整備。散策路のササ刈りと第2期調査区画の調査を行いました。
- 8月21日(土):11名で30℃の猛暑の中で定例活動。第2期調査区の毎木調査を行いました。そして、「木竹伐採許可」の申請資料を準備しました。(文責:堂馬 英二)



## 【12～1月の活動予定】

### ① 12月15～21日で企画展

六甲山勤労市民センター4Fで12月15日(水)～21日(火)の1週間、「昔の六甲を知ってみよう! 2～六甲の語り部と六甲登山地図展～」を開催します。昨年に引き続いて、六甲山の山麓の市民に、六甲山への関心を高めてもらうのがねらいです。

その中で「六甲山を活用する会」の活動紹介も行い、環境整備活動については「二つ池環境学習林づくり」のコーナーを設けてパネル展示をします。

12月19日(日)には記念講演として、「モダニズム、山に登る」～ガイドブックや地図などに見る昔の六甲・六甲山～(講師: 森地一夫氏)も併催します。



企画展のポスター

### ② 1月13日(木)に六環協中間報告会

六甲山環境整備協議会の第5期中間報告会を、1月13日(木)18時から神戸市立六甲勤労市民センター5Fで開催する予定です。平成22年度前半の活動実績を報告し、平成23年1月～3月の活動計画、および平成23年度の事業計画を検討します。今期は第2期アセビ伐採調査を実施し、そのフォロー調査の体制もできましたので、その成果物のまとめについて意見交換したいと考えています。

### ③ 12～1月の環境整備活動の予定

■12月7日(火): 臨時環境整備の第1回として、第2期調査区でアセビ以外の毎木調査を実施します。

■12月10日(金): 臨時環境整備第2回、第2期調査区毎木調査、第1期調査区の樹種調査を予定。

■12月18日(土): 定例活動として散策路や二つ池・アセビ調査区



アセビ伐採後の第2期調査

の環境測定などを行います。

■12月20日(月): 臨時環境整備の第3回として、第1期調査区

の非処理区

の毎木調査に着手します。

■1月15日(土): 定例活動として、散策路の観察調査、二つ池

や調査区

の環境測定などを行います。

■1月30日(日)に冬のパークレンジャー

平成22年度の四季の環境学習プログラムの最後として、2011年冬の「六甲山子どもパークレンジャーを目指そう!」を1月30日(日)に開催します。すでに募集チラシを配布し、12月20日から参加受付し1月20日に締め切ります。

このところは暖冬で、六甲山でも雪や氷に触れる機会が少なくなっていますが、六甲山の冬を体験できる試みを考えています。また、「二つ池環境学習林」を活用して、六甲山らしい環境学習プログラムをつくりたいと願っています。



冬のパークレンジャー

## 【9～11月の活動の概略】

### ① 9月5日にトンボ観察会

特別観察会(2)「二つ池でトンボたちを探そう!」を予定通り9月5日に開催しました。気温は33℃と下界並みの暑さで、参加者とスタッフ計33名で活動しました。

自然保護センターでの説明の後、記念碑台周辺で虫取りを行い、二つ池に向かいました。二つ池ではトンボやオタマジャクシなどを観察しました。幸運にもオオルリボシヤンマが飛来し、メスとオスを採取できました。



採取できたオオルリボシヤンマ

### ② 10月1日に「木竹伐採許可」を申請

平成22年度の環境整備活動の大きな課題は第2期のアセビ伐採調査です。6月以降は調査区画の設定や、アセビの毎木調査などを続け、第2期の「木竹伐採の許可」を申請するための準備を行いました。10月1日に環境省近畿地方環境事務所・神戸自然保護官事務所と神戸市建設局公園砂防部計画課を訪問して、申請書を提出しました。

### ③ 9～11月の環境整備活動

9月からの3ヶ月間は、月次の定例観察に加え、第2期アセビ伐採の準備・申請・伐採・炭焼きの一連の活動をしました。



アセビの伐採



炭焼き窯へのアセビ搬入

■9月18日(土): 9名で定例環境整備活動。散策路、第1期調査区、二つ池の観察調査、第2期調査区の下見を行いました。

■9月24日(金): 10名で臨時環境整備活動。16℃の秋冷に驚きつつ第2期調査区の樹種調査を終了しました。

■10月16日(土): 12名で定例活動を実施。散策路と第1期調査区および二つ池周辺の観察調査を行いました。

■10月19日(火): 環境省からは13日、神戸市から19日に「木竹伐採許可」がおりました。臨時環境整備として9名でアセビ伐採の準備をしました。

■10月29日(金): 9名で臨時環境整備。第2期アセビ伐採調査を本格的に実施しました。伐採したアセビの年輪の輪切り標本づくりをし、樹高の実測修正などをしました。

■11月1日(月): 兵庫県森林組合連合会に委託し、二つ池周辺地域を実地測量。測量士など3名と当会2名の5名で実施。

■11月9日(火): 環境21の会2名が参加し、12名で臨時環境整備。第2期調査区のアセビ伐採を継続しました。

■11月16日(火): 12名で臨時環境整備。第2期調査区の4区画で約140本のアセビを伐採し、搬出の準備もしました。

■11月20日(土): 8名で定例の観察調査を実施しました。

■11月30日(火): 10名で臨時環境整備活動。伐採したアセビを整理し、2名が姫路市夢前町の炭焼き窯に搬入。他は残置した樹木の毎木調査に着手しました。(文責: 堂馬 英二)



## 【2～3月の活動予定】

### ① 2月9日（水）に服部先生への報告・勉強会

3年前に着手したアセビ伐採による多様な植生回復のための実験調査は、第2期調査を終えて対象区全域の調査データも整理できてきました。

調査に先立って、県立人と自然の博物館の服部 保研究部長に助言をいただきました。ようやく、進捗の結果報告ができる段階になりました。2月9日（水）におうかがいして、調査結果への講評や今後の課題などご指導いただく予定です。

当日は、「ひとはく・共生のひろば」のパネル展示も行います。環境整備活動に関わられた多くの方の参加を期待します。

### ② 2月11日（金）に「ひとはく・共生のひろば」

当会が環境整備活動に着手して7年になります。ここ数年はアセビ伐採調査や、「二つ池環境学習林」の景観設計などに注力しました。そろそろ、活動のまとめを行って、対外的にアピールして評価も求めたいと考えています。

県立人と自然の博物館が2月11日（金）に「第6回ひとはく・共生のひろば」を開催します。当会は、六甲山上「二つ池環境学習林」の保全整備と活用をテーマに堂馬が口頭発表します。同日から4月3日まで展示される、活動団体のポスター発表も行われます。口頭発表と同じテーマでパネル展示もします。



共生のひろば案内

### ③ 2～3月の環境整備活動の予定

■2月19日（土）：定例活動として、散策路や二つ池・アセビ調査区の環境測定などを行います。積雪がありますので、樹木の新芽の状況を観察します。

■3月19日（土）：定例活動として、散策路や二つ池・アセビ調査区の環境測定などを行います。そろそろ、春植物の芽生えが予想されますので、植生の観察に注力します。

■3月下旬：第2期アセビ伐採調査で伐採したアセビは、NPO環境21の会に搬入して、乾燥中です。3月下旬に炭焼きの予定です。見学し手伝いにいきます。

### ④ 2～3月の発行・制作物の予定

■2月中：セブニーレブンみどりの基金の助成金を活用して、『六甲山・二つ池物語1』を作成し発行します。環境整備活動の歩みを紹介した総合教材になるものです。

■3月中：大阪コミュニティ財団の助成金を活用して、『六甲山辞典』を制作しています。既刊『六甲山物語1』『六甲山物語2』をCD-Rに収納し、用語検索等が多様にできるものです。

## 【12～1月の活動の概略】

### ① 12月15～21日で企画展

六甲山勤労市民センター4Fで12月15日（水）～21日（火）の1週間、「昔の六甲を知ってみよう！2～六甲の語り部と六甲登山地図展～」を開催しました。

「六甲山を活用する会」の活動紹介も行き、環境整備活動については「二つ池環境学習林づくり」のコーナーを設けてパネル展示や、アセビの実物展示などを行いました。企画展への来場者は1週間で約350人。広報が不足したにもかかわらず多くの方が来

られました。「こんな活動をしていたのか！」と感激される方もいて、開催の努力が報われました。

12月19日（日）の記念講演、「モダニズム、山に登る」～ガイドブックや地図などに見る昔の六甲・六甲山～（講師：森地一夫氏）には、23名参加されました。貴重な資料や解説で六甲山近代史に目を開きました。

### ② 1月13日（木）に六環協中間報告会

六甲山環境整備協議会の第5期中間報告会を、1月13日（木）18時から神戸市立六甲勤労市民センター5Fで開催しました。環境省神戸自然保護官事務所、国土交通省六甲砂防事務所、神戸森林整備事務所、人と自然の博物館、六甲摩耶鉄道（株）、イベント清掃ひかひか隊など、当会会員と併せて23名が集まりました。

岡井敏博幹事が、第2期アセビ伐採調査と調査まとめを報告し、突っ込んだ質問や意見交換が行われました。環境保全・整備の専門家からも、初めてのアセビ伐採調査が注目を集めて、今後の課題が提起されました。



アセビ伐採調査の報告

### ③ 12～1月の環境整備活動

■12月7日（火）：12月の臨時環境整備第1回として、6名で第2期調査区でアセビ以外の毎木調査を実施しました。

■12月10日（金）：臨時環境整備第2回、9名で第2期調査区の毎木調査、第1期調査区の樹種調査を実施しました。

■12月18日（土）：定例活動として、11名で散策路や二つ池・アセビ調査区の環境測定などを行いました。

■12月20日（月）：臨時環境整備第3回として、7名で第1期調査区の非処理区の毎木調査を行いました。

■1月15日（土）：定例活動として、7名で散策路の観察調査、二つ池や調査区の環境測定などを行いました。

### ④ 1月30日（日）に冬のパークレンジャー

平成22年度の四季の環境学習プログラムの最後として、1月30日（日）に、2011年冬の「六甲山子どもパークレンジャーを目指そう！」を開催しました。六甲山上は積雪が5～10cm、天候も晴れて-4℃という気温、絶好の日和でした。参加者は子ども27名・大人9名、スタッフ21名の合計57名でした。



雪の雑木林で植物観察



ほだぎの虫探し

午前中、小学3年生以上のAコースは二つ池環境学習林での植物観察、ファミリーのBコースは冬の自然体験を行いました。豚汁サービスの昼食後、Aコースはアセビの年輪測定など、Bコースは恒例のほだぎの虫探しを行いました。

雪の世界に馴染んだ参加者は満足感がいっぱいでした。

（文責：堂馬 英二）



## 【3月以降の活動予定】

### ① 3月以降の環境整備活動の予定

- 3月19日(土): 定例活動として、散策路や二つ池・アセビ調査区の環境測定などを行います。そろそろ、春植物の芽生えが予想されますので、植生の観察に注力します。
- 3月下旬: 第2期アセビ伐採調査で伐採したアセビは、NPO環境21の会に搬入して、乾燥中です。3月下旬に炭焼きの予定ですので、見学し手伝いにいきます。

### ② 3月以降の発行・制作物の予定

- 3月中: 大阪コミュニティ財団の助成金を活用して、『六甲山辞典』を制作しています。既刊『六甲山物語1』『六甲山物語2』をCD-Rに収録し、用語検索等が多様に行えるものです。
- 3月中: 期末になりますので、会計処理や助成金の報告書等を作成することで大わらわになる見込みです。

## 【2月の活動の簡略】

### ① 2月9日(水) に服部先生への報告・勉強会

2月9日(水)に環境整備活動のメンバー11名が、県立人と博物館に服部 保先生をお訪ねしました。10時30分から12時まで、アセビ伐採調査の報告をし、講演や助言をいただきました。「六甲山にアセビが多いねと誰もが思っていますが、こんな検討は誰もしていません。初めての貴重なデータです」「アセビが密生すると落葉樹に悪影響し、多様性を損なうことがこの仕事ではっきりしました」というご講演で、私たちが取り組んだ地道な活動の意義を鮮明にいただきました。



服部先生



出席メンバー

### ② 「共生のひろば」のポスター発表が館長賞

2月11日(金)に県立人と自然の博物館で「第6回ひとく・共生のひろば」が開催されました。午前10時からホロンピアホールで河合雅雄名誉館長の記念講演と口頭発表が行われ、15時から博物館の3階でポスター展示、そして17時から受賞者発表の茶話会が行われました。

#### ■ トップバッターで口頭発表

河合名誉館長の記念講演の直後に、当代表の堂馬英二が、六甲山上「二つ池環境学習林」の保全整備と活用と題して口頭発表を行いました。発表10分質疑応答2分という短時間でした。高校生や中学生の研究グループが、ユニークなテーマに取り組み、練習を重ねた発表をしていたのに会場の拍手が集まりました。

#### ■ ポスター発表が館長賞を受賞

本館3階のイベント会場でポスター展示が行われました。当会は入り口近くに4枚のボードを借用し最大のスペースでパネルを展示しました。他のポスター展示は手作りで興味をひくものが多く、時間をかけた労



ポスター発表

作が揃っていました。

17時から本館4階で催された茶話会で、当会がポスター発表の部門で館長賞をいただきました。皆さんでやってきた活動が好評されたことを喜びました。

### ③ 2月の環境整備活動

#### ■ 2月19日(土): 6年ぶりに「ハート池」に再会!

定例活動として、8名で散策路や二つ池・アセビ調査区の環境測定などを行いました。積雪がありますので、樹木の新芽の状況を観察することを主にしました。散策路を観察して二つ池の下池を望むと、凍った池のまん中が溶けていました。水中の大きな上部が顔を出し、うっすらハート形が見えました。最初にハート池にであったのが2005年2月19日でした。ちょうど6年目に幻のハート池に再会でき、全員が感激しました。その後、アセビ第1期・第2期調査区画でつぼみの状態などを観察しました。



氷がゆるみだした下の池



氷が溶けたハート形

### ④ 2月の発行・制作物

年度末を控えて、本年度の活動のまとめはもとより、7年間にわたる環境整備活動のまとめを進めています。その中でも、力を注いでいるひとつが『六甲山・二つ池物語1』の発行です。

#### ■ 『六甲山・二つ池物語1』を発刊

六甲山上で7年にわたって環境整備活動を続けていますが、その発端はささいな動機でした。ハート池の出会いが対象地域に注目する転機になりました。清掃整備・環境整備・植生調査・水生生物調査、そしてアセビ伐採調査へと活動は進化しました。同時に、対象地域を環境学習に活用しました。私たちの活動は専門的な研究ではありませんが、一般市民が環境への関わりを深めていく良い事例、物語といえます。この冊子を環境整備活動や環境学習に導く、総合的な教材にしたいと考えました。活動を担う人のエッセイを掲載したのも特徴です。



六甲山・二つ池物語1

私たちの環境保全活動のあゆみ

六甲山環境整備協議会

六甲山・二つ池物語 1

#### ■ 『二つ池環境学習林の紹介』DVD制作

二つ池環境学習林や活動ふりを紹介するDVDも制作しました。『二つ池環境学習林の紹介』として、六甲山子どもパークレンジャーやアセビ伐採調査のVTRを編集して制作しました。一般の方々を対象に、「二つ池環境学習林」の紹介をする場合に活用する予定です。(文責: 堂馬 英二)



二つ池環境学習林の紹介



 **セブン-イレブンみどりの基金**

一般財団法人 **セブン-イレブン記念財団**

この報告書は、セブン-イレブン記念財団の助成金  
により作成しました。 2011年2月20日



**六甲山を活用する会**

***Friends for Activating Life with Rokkosan***

〒657-0028 神戸市灘区森後町 2-1-3 ワークスタイル研究所内

TEL 050-3743-9897 FAX 078-856-6616

Mail : [info@rokkosan-katsuyo.com](mailto:info@rokkosan-katsuyo.com)

URL : <http://www.rokkosan-katsuyo.com/>